

原水協活動 FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年10月27日 No.85

国連軍縮週間行動各地で

1978年の国連軍縮特別総会で、国連創設の日である10月24日から1週間を「軍縮週間」と決め、世界的な軍縮の取組みを推進しようと始まった国連軍縮週間。全国各地でこれに合わせた行動が行われています。

街頭ライブなど楽しく宣伝 愛知

愛知県原水協は25日午後、2時間余りにわたり、中区栄マルエスカイル前にて、宣伝行動を行いました。

なくそう核兵器、守ろう憲法9条をテーマに、リレートークとうたごえを行いながら、子どもたちや若者に「核兵器のない世界を」風船を配りました。原爆展をみながら、即座に署名してくれる若者の2人組、被爆者のところで署名をしてくれた親子連れ、カップル、小学生や中学生や高校生のグループなど、土曜日の繁華街の賑わいの取り組みとなりました。「アピール：核兵器のない世界を」署名111筆、「原爆症認定基準の改定を求め」署名85筆、募金3,310円が寄せられました。



県老人クラブ会長もサイン 徳島

徳島県原水協は国連軍縮週間に合わせて訪問活動などに取り組んでいます。24日は、午前・午後と吉田泰英民医連事務局長、神野県原水協事務局長らが行動しました。徳島県老人クラブ連合会では片山寿雄会長が「終戦の11月に朝鮮から引きあげた。関門トンネルは無蓋貨物車、途中、広島は焼野原で涙が出ました。徳島に帰っても駅から眉山の裾野まで見通せるほど焼けていました」と話しながら署名をしていただき、用紙を50枚預かってくれました。この日は午前中に、全労働、保険医協会、県医師会、建交労、市老人会、市身障者の会、市母子寡婦福祉連合会、市国際交流協会、県老人会、県母子寡婦福祉連合会、県婦人会連合会を訪問。午後は、徳島建労、とくしま生協、生協労組、鳴門市従、徳島労連を訪問し、それぞれ署名用紙を15～300枚預かってくれました。

神戸の繁華街で 兵庫

兵庫県原水協は24日正午、神戸市中央区の元町商店街で、2010年のNPT（核不拡散条約）再検討会議に向けて提唱された「核兵器のない世界を」国際共同キャンペーンなどを訴えて署名・宣伝行動を行いました。

県原水協代表理事の山内保英さん（兵商連副会長）や津川知久さん（兵庫労連議長）などがマイクで、「開会中の国連総会へ核兵器廃絶の声を届けよう」と「核兵器のない世界を」署名への賛同を呼びかけました。

参加した新婦人の垣本千里平和部長、平和委員会の高橋正明事務局長、高教組の永井章夫書記長など18人が、道行く人々にチラシを配布しながら核兵器廃絶要求の署名を訴え、83筆が寄せられました。

リーフ付属署名第1号とびく
「核兵器のない世界を」の新国際署名を広範な人びとにひろげるために日本原水協が作成したカラーリーフに付いている署名第1号が長野県から事務局に届きました。長野県原水協は、リーフ5000枚を活用しています。が、さっそく効果が表れ始めています。